

みな ^が ^わ 皆川りうこ

2004年 春号

発行：皆川りうこの会 "Let's" 国分寺市東恋ヶ窪 6-7-31



既定路線上の市政運営ではなく 大胆な発想と転換を!

市民文化会館建設
関連議案も否決

16年度予算案否決、2年連続暫定予算

2月26日から3月26日まで開催された第1回定例議会では、16年度予算案の審議が行われました。将来のまちづくりに多大な影響を及ぼす要因を含む財政支出の初年度であり、その方向性を決める岐路に立たされた議会でした。皆川りうこは、本予算および文化会館建設関連議案に反対しました。

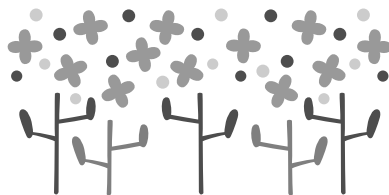
大型事業に合わせた、 つじつまあわせの 財政フレーム

予算案審議に先立って、予算編成の基本となるH23年度までの財政フレームが示され議論の焦点となりました。

国の三位一体改革の中で交付税減額等に伴い、16年度より市は不交付団体となりました。財源確保のための臨時財政対策債を市では最大限見込んでいますが、将来の新たな借金であり、個人市民税も減少するなど、ますます市財政の厳しさは増大の一途です。

しかし、今回の財政フレームでは、19年度以降に地方交付税が、従来通りに戻ると予測して、これまで以上の数字を計上していますが、あたかも、市民文化会館を始めとする大型事

業推進の裏付けのため、歳入を最大限見積もるなど、財政問題が解決したかのようなつじつま合わせの結果といえます。このように財政フレームの問題と、合わせて次世代へツケを回さないという強い市長の意思と改革も見られず、既定路線上の市政運営での予算提案といわざるを得ません。新たな発想と転換、政策選択が必要です。16年度予算は賛成9、反対16により否決されました。



※地方交付税…

行政サービスの一定水準の確保と地域間の税源の不均衡という問題を調整し、すべての自治体が一定水準の行政サービスを提供できるようにするため、国税の一定割合が交付される交付金。

財政逼迫の要因、 文化会館建設は白紙に!

大変厳しい財政環境のなか、更なる行政改革・事業の見直しはいうまでもなく、将来の財政にも一定の責任を持つ市長であればこそ、新たなハコモノ建設など維持管理費のかかる事業は慎重であるべきです。特に、西国分寺東地区再開発地内に予定されている市民文化会館は、「多くの自治体が、毎年多額の支出により財政逼迫の要因になっている」「反対者が多かった数年前の市民アンケートの結果」「市の政策優先順位」の視点からも一旦白紙に戻し再検討が必要です。今回提案された文化会館建設・運営事業契約の議案については、反対が17で賛成は自民・民主のみの賛成8により否決となりました。



3月議会 予算特別委員会にて

皆川りうこの発言のなかから

安心、自立して暮らせる為に

皆川
りうこ

成年後見制度については、後見人選任の課題がある。地域福祉権利擁護事業を実施している社会福祉協議会自体が後見人なるように、市として何らかの働きかけをしてはいかがか。

市側の答弁

将来的な課題としてとらえたい。

※成年後見制度… 高齢者、知的、精神などの障害を抱えた方を対象としている。判断能力が不十分な為に、財産の侵害、悪徳商法の被害を受けたとき、または相続、財産管理契約などの法律行為を行うことが困難になった本人に代わって、後見人となって法律行為を代行する制度です。契約によりサービスを受ける介護保険制度開始に伴い、制度を円滑に進めるための両輪として、その必要性が高まっている。

皆川
りうこ

女性への暴力(DV)などが問題でシェルターの確保が重要となっているが、高齢者・子供への虐待などへの同様なシェルターも重要課題だ。市としても考えるべき課題ではない

市側の答弁

大変憂慮する問題だ。今後とも研究が必要。

市内の公共施設の有効利用

皆川
りうこ

施設は、利用する対象が、年齢、世代別・行政の部や課別による施設利用ではなく、さまざまな人が有効に利用できるような工夫を。「本多生きがいセンター」は60歳以上を対象とし、土日休み、開館時間は9時から4時まで。開所時間・対象者など利用内容の拡大を検討せよ、市民管理の方策も模索を。

市側の答弁

市内の公共施設の利用については、今年度全体的に見直していく予定。その中で検討したい。

環境施策の充実、野川の整備

皆川
りうこ

環境基本計画でも重要課題と位置付けられている、「野川の整備」はすすめるべき。一方では、川と沿線住宅との境界査定の問題がある。その対応についての現状はいかがか。

市側の答弁

重要な課題と認識している。時間がかかるが整理していきたい。

介護予防策、健康づくり

皆川
りうこ

医療費削減、介護予防の施策がますます重要になっている。埼玉県、草加市では市内のスポーツジムと提携して健康教室を開催している。トレーナーなど専門家のアドバイスを受け、利用者に合わせた健康プログラムを提供している。市の財政支出もなく利用者負担で実施している。すべて市がサービスを提供するのではなく、民間事業者の協力を得ることも視野に入れてはいかがか。

市側の答弁

民間への働きかけはしてこなかった。勉強してみたい。

Plan Do Check Action

[計画・実行・評価・改善]の視点で税金の使い方をチェックする!

職員人事制度・給与手当てに関して

皆川
いうこ

退職者の再任用職員再雇用に関しては透明性を保つよう、人数だけではなく配属先など予算書に明記せよ。

市側の答弁

付属資料として提出するようにしたい。

※再任用制度… 60歳定年制度に伴い、60歳から65歳までの、公務内で働ける意欲と能力のある人を改めて任用する制度として導入された。65歳年金支給開始までの制度であり、官優遇との批判もある。嘱託職員とは違い、「常勤職員と同様の本格的な職務に従事するもの」と位置づけられている事から、報酬ではなく給与が支給される。

皆川
いうこ

14年に年功序列型から職務職責にあわせた給与制度改正の際、調整手当10%から5年間で段階的に、19年には国基準の12%に引き上げる事となった。都基準に合わせるとのことだが、財政難の折、引き上げは当分の間据え置きせよ。

市側の答弁

職員組合との話し合いの元に今の制度になったので改正は厳しい。(市長にも答弁を求めたが同様の答え)

(本来であれば、このような一律の手当ての支給ではなく、本人の実績や評価によって給与に反映されるのが望ましく、「がんばる人は報われる」職場環境にしていくべきではないかと考えます。)

※調整手当… 民間における賃金、物価および生計費が特に高い地域に所在する官公署に勤務する職員に支給される手当のこと。支給割合は12%、10%、6%、3%と分かれている。
現在、市の条例上では、(月額給料+扶養手当+管理職手当)×12%=給与
例えば、仮に(カッコ内の数字が40万円とすると)×12%=44.8万円となる。

駐輪場問題

皆川
いうこ

国分寺駅北口再開発事業用代替地に開設された、本町4丁目の駐輪場は、財政フレームでは、事業用代替地ということで、18年度までしか利用できない暫定的な場所である。それ以降の駐輪場の確保は大丈夫なのか？

市側の答弁

18年度までの駐輪場である。何らかの対応を考えたい

◆国分寺駅北口再開発事業

～付加価値の高いまちづくりを目指して～

市では約500億円以上もの総事業費を圧縮する検討をした際、高コストの駐車場が問題になり、北口駅周辺のまちづくりのあり方を考える必要性が示され、「国分寺駅周辺まちづくり構想」の策定となりました。当然、周辺まちづくりのためにも、再開発事業により、商業、経済活性化などの面で付加価値を高めることが求められます。この構想策定においては、急変する時代の中でまちの将来像を明らかにしていくことも検討されます。

しかし、構想策定の目的について市長は、「財

政を逼迫させる駐車場問題を解決する為」と明言するに至っては、単なる辻つまあわせで、今を乗り切れればいいといわんばかりの答弁でした。

また、市民の理解を得るためにも、これまでの事業経費や問題点など明らかにした「白書」づくりの提案は、残念ながら受け入れられない結果となりました。

再開発事業は今年度から、24年完了に向けていよいよ具体的な事業が進みます。更なる情報公開と説明責任が重要です。

二転三転の市長の方針!これが市政の舵取り?

■中学校給食?昼食?

各中学校からの代表の保護者や先生等で検討の結果、16年度～18年度中に、市内5つの中学校で学校給食法に基づく弁当併用外注方式(市で決めた献立を委託業者が発注、調理)が実施される予定でした。

しかし2月、市長は突如として食品衛生法に基づいた弁当外注方式(弁当を注文する)に方針を変更。財政負担がないことを理由に、中学校給食に関する予算を計上せず、財政フレームからも削除しました。

今予算委員会での「当初の計画に戻すべき」との意見に対し、市長は「新方針も含めて検討する、予算計上は20年度以降に」と再度の変更。納得のいく説明もないままの方針変更は、行政不信を招くだけです。

■住基ネット問題

その場その場で、市長自らの立場を守るだけの対応だった?

2年前市長は「市民の個人情報を守るため」と明言し、住基ネットから離脱。昨年、「制定された個人情報保護法には、問題がある」という自らの発言とは裏腹に、住基ネットへの接続を決定。

市長の接続決定以降は、議会は「市民の個人情報を守る、市の個人情報保護条例」を尊重し、それとは相反する「住基ネットの接続関連議案」には反対をしてきました。

市長は議会で否決されたのにも関わらず、市長権限で接続に関連する予算を執行。それにより市長は、市の個人情報保護条例違反状態となりました。

3月議会中、これまで反対し続けてきた3人会派「国分寺 生活者ネットワーク」が突然住基関連議案に賛成。賛成者が過半数となったため、接続が議会でも承認された形となり、市長の違反状態は不問に付されてしまいました。

市では今後、タバコの投げ捨て(仮称・ポイ捨て条例)の違反者に対して罰則を予定するなど、厳しい処置を取る方針です。市長自身がこうした方針に則り、今回の件では自らの条例違反を公表し責任を取った上で条例提案をすべきでした。

市長の独断での切断や接続、そして議会の否決とも反した一連の対応、本当は誰の為だったのでしょうか?

皆川りうこの活動報告

- 1月31日(土) 国際公会計学会関東部会
- 2月 1日(日) 支援費・介護保険セミナー
- 4日(木) 建設委員会傍聴
- 6日(金) 総務委員会傍聴 (住基ネット参考人)
- 9日(月) 臨時議会
- 10日(火) 教育委員会研究奨励校 小中連携教育実践研究発表会
国分寺第6小学校、第5中学校
- 12日(木) 青少年問題協議会
- 14日(土) 身障学級学習発表会/シンポジウム 地域と学校が
連携協力した体験活動推進の為に
- 16日(月) 学園跡地周辺跡整備特別委員会 傍聴
- 17日(火)・18日(水) 会派視察 大阪箕面市・寝屋川市
- 21日(土) 自治体政策議会 介護保険・国民健康保険について
- 23日(月) ごみ・リサイクル等特別委員会
- 28日(土) *Let's* の会
- 2月26日(木)～3月26日(金)まで 3月定例議会
- 3月13日(土) 至誠ホームキートス 介護教室 成年後見制度について
- 24日(水) 第3小学校卒業式
- 4月 1日(木) 国分寺駅周辺パトロール
- 3日(土) 第4小学校開校式
- 4日(日) セミナー「障害があっても自分らしく暮すために
～デンマークから学ぶ」
- 5日(月) まちづくり条例についての事前説明
- 6日(火) 国分寺第3小学校入学式
- 7日(水) 国分寺第1中学校入学式

まちの声・こえ・VOICE

まちづくり条例を使いこなせるように。

いま、市の都市計画の管理職は、都や他市からの職員が配属されているのですが、戻ったらその後は大丈夫ですか?市として、「国分寺市のまちづくり条例(案)」は責任もって取り組んでほしいし、形骸化することのないようにしてもらいたいものです。
(MHさん 50代)

皆川りうこの会 *Let's* 伝言板

皆さんとともにまちづくりを考えていきたいと思います。今後ともご意見、ご提案などお寄せいただきますようお願いいたします。

連絡先 TEL/FAX 042(324)4442
TEL 042(324)7181
E-mail: riuko@din.or.jp